



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月30日

上場会社名 新明和工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7224 URL <http://www.shinmaywa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 五十川 龍之
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 広報・IR部長 (氏名) 実平 典子 (TEL) 0798-56-5002
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 2018年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	98,557	2.7	4,048	△27.3	4,290	△24.8	3,242	△13.3
2018年3月期第2四半期	95,981	3.9	5,570	13.6	5,702	22.0	3,741	27.2

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 2,913百万円(△36.9%) 2018年3月期第2四半期 4,618百万円(87.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	34.14	—
2018年3月期第2四半期	39.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	186,852	123,723	66.1
2018年3月期	190,001	125,004	65.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 123,590百万円 2018年3月期 124,893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	7.00	—	16.00	23.00
2019年3月期	—	18.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	215,000	3.7	11,000	3.8	11,500	7.0	7,900	11.5	84.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	100,000,000株	2018年3月期	100,000,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	6,537,781株	2018年3月期	4,535,321株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	94,987,709株	2018年3月期2Q	95,465,987株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(追加情報)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境、所得水準の改善等を背景に、緩やかな景気回復が続く一方で、米国及び中国間の貿易摩擦の高まりが、世界経済の先行きに不安を与える中で推移いたしました。

こうした状況下、当社グループは、新たな企業価値創出により更なる成長・拡大を志向した3カ年の中期経営計画「Change for Growing, 2020」を策定し、初年度の取り組みに着手いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は115,050百万円(前年同期比4.9%減)と、パーキングシステムセグメントにて大口案件を受注した前年同期に比べ減少したものの、着実な生産活動と堅調な受注残高が寄与し、売上高は98,557百万円(同2.7%増)となりました。

一方損益面では、費用の増加に加え、航空機セグメントにおいて民需関連の収益が減少したことなどから、営業利益は4,048百万円(同27.3%減)、経常利益は4,290百万円(同24.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,242百万円(同13.3%減)となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概要は次のとおりであります。なお、各セグメントの受注高及び売上高には、セグメント間の内部受注高及び内部売上高を含んでおります。また、文中の受注(高)及び売上(高)の増減は、前年同期との比較であります。

(航空機)

防衛省向けは、受注は増加し、U S - 2型救難飛行艇の製造作業が進捗したことなどから、売上も増加いたしました。

また、民需関連は、ビジネスジェット機向けの機体部品等の受注が増加したものの、ボーイング社「777」向け翼胴フェアリングの生産機数が減少したことなどから、全体では、受注は増加し、売上は減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は19,340百万円(前年同期比5.7%増)、売上高は20,556百万円(同7.0%増)となりましたが、営業利益は672百万円(同60.7%減)となりました。

(特装車)

車体等の製造販売は、国内需要が引き続き好調に推移したことなどから、受注は増加し、売上は前年同期並みの水準となりました。

また、保守・修理事業は、受注、売上ともに増加いたしました。

このほか、林業用機械等は、受注は増加しましたが、売上は減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は52,692百万円(前年同期比16.1%増)、売上高は44,442百万円(同1.7%増)となりましたが、営業利益は3,419百万円(同6.0%減)となりました。

(産機・環境システム)

流体製品は、受注、売上ともに前年同期並みの水準となりました。

また、メカトロニクス製品については、真空製品の受注、売上が増加したことなどから、分野全体では受注、売上ともに増加いたしました。

このほか、環境関連事業は、プラント事業で大口の新設案件を受注した前年同期に比べ受注は減少したものの、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は18,202百万円(前年同期比2.6%増)、売上高は12,529百万円(同8.7%増)となりましたが、営業損益は315百万円の損失となりました。

(パーキングシステム)

機械式駐車設備は、首都圏等で堅調な需要が継続したことなどから、受注は前年同期並みとなり、売上は増加いたしました。

また、航空旅客搭乗橋は、大口案件を受注した前年同期に比べ受注は大幅に減少したものの、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は17,470百万円(前年同期比47.2%減)、売上高は15,080百万円(同7.1%増)となり、営業利益は976百万円(同28.8%増)となりました。

(その他)

建設事業において、受注は増加したものの、売上が減少した結果、当セグメントの受注高は8,556百万円(前年同期比5.0%増)、売上高は7,951百万円(同9.3%減)となり、営業利益は422百万円(同28.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産は、たな卸資産は増加したものの売上債権を回収したことなどにより前連結会計年度末に比べて3,149百万円減少し186,852百万円となりました。負債は、法人税等の納付などにより、前連結会計年度末に比べて1,868百万円減少し63,128百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、配当金の支払いや自己株式を取得したことなどにより前連結会計年度末に比べて1,280百万円減少し123,723百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の65.7%から66.1%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、2018年4月27日に公表いたしました通期連結業績予想を以下の通り修正いたします。

2019年3月期 通期連結業績予想の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	210,000	10,500	11,000	7,600	79.61
今回修正予想 (B)	215,000	11,000	11,500	7,900	84.53
増減額(B-A)	5,000	500	500	300	—
増減率(%)	2.4	4.8	4.5	3.9	—
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	207,335	10,594	10,752	7,086	74.23

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,750	21,528
受取手形及び売掛金	74,795	62,940
商品及び製品	3,327	3,710
仕掛品	19,594	19,792
原材料及び貯蔵品	14,796	16,711
その他	2,486	4,568
貸倒引当金	△33	△29
流動資産合計	133,717	129,222
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,798	13,190
その他（純額）	18,480	19,354
有形固定資産合計	31,279	32,544
無形固定資産		
無形固定資産	2,587	2,518
投資その他の資産		
その他	22,459	22,599
貸倒引当金	△42	△33
投資その他の資産合計	22,417	22,565
固定資産合計	56,284	57,629
資産合計	190,001	186,852

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,572	24,642
短期借入金	90	—
未払法人税等	2,313	1,182
製品保証引当金	9	6
工事損失引当金	4,481	3,799
その他	19,405	19,052
流動負債合計	50,871	48,684
固定負債		
退職給付に係る負債	11,734	12,155
その他	2,391	2,288
固定負債合計	14,125	14,444
負債合計	64,997	63,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,981	15,981
資本剰余金	15,738	15,738
利益剰余金	94,861	96,576
自己株式	△3,252	△5,920
株主資本合計	123,328	122,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,019	2,594
土地再評価差額金	△376	△376
為替換算調整勘定	352	297
退職給付に係る調整累計額	△1,431	△1,302
その他の包括利益累計額合計	1,564	1,214
非支配株主持分	111	132
純資産合計	125,004	123,723
負債純資産合計	190,001	186,852

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	95,981	98,557
売上原価	80,134	84,156
売上総利益	15,847	14,401
販売費及び一般管理費	10,276	10,352
営業利益	5,570	4,048
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	81	98
持分法による投資利益	114	81
為替差益	—	129
その他	55	68
営業外収益合計	260	387
営業外費用		
支払利息	5	5
為替差損	49	—
休止固定資産費用	11	10
債権流動化費用	33	99
その他	28	30
営業外費用合計	128	145
経常利益	5,702	4,290
特別利益		
投資有価証券売却益	23	695
退職給付制度移行益	—	278
特別利益合計	23	974
特別損失		
固定資産処分損	83	192
災害による損失	—	206
特別損失合計	83	399
税金等調整前四半期純利益	5,642	4,864
法人税、住民税及び事業税	1,488	1,201
法人税等調整額	402	395
法人税等合計	1,890	1,597
四半期純利益	3,751	3,267
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	24
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,741	3,242

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	3,751	3,267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	785	△424
為替換算調整勘定	16	△19
退職給付に係る調整額	80	128
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	△38
その他の包括利益合計	866	△353
四半期包括利益	4,618	2,913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,607	2,892
非支配株主に係る四半期包括利益	10	21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,642	4,864
減価償却費	2,377	2,421
売上債権の増減額(△は増加)	13,385	12,099
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,305	△2,108
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,820	△244
その他	△3,792	△3,928
小計	12,485	13,104
利息及び配当金の受取額	178	216
利息の支払額	△5	△4
法人税等の支払額	△2,575	△2,296
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,084	11,019
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,306	△3,010
無形固定資産の取得による支出	△340	△374
その他	△58	△426
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,704	△3,811
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200	—
短期借入金の返済による支出	△150	△90
自己株式の取得による支出	△2	△2,667
配当金の支払額	△668	△1,527
その他	△138	△117
財務活動によるキャッシュ・フロー	△759	△4,401
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,620	2,778
現金及び現金同等物の期首残高	18,772	18,750
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,392	21,528

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年7月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,002千株の取得を行いました。当該自己株式の取得などにより、自己株式が2,667百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は5,920百万円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	19,217	43,710	11,527	14,080	88,534	7,447	95,981	—	95,981
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	3	1	5	10	1,315	1,325	△1,325	—
計	19,217	43,713	11,528	14,085	88,544	8,762	97,307	△1,325	95,981
セグメント利益又 はセグメント損失 (△)	1,710	3,639	△28	758	6,079	592	6,671	△1,101	5,570

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,101百万円には、セグメント間取引消去△26百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,075百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	20,556	44,440	12,524	15,056	92,578	5,979	98,557	—	98,557
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1	5	24	31	1,971	2,003	△2,003	—
計	20,556	44,442	12,529	15,080	92,609	7,951	100,560	△2,003	98,557
セグメント利益又 はセグメント損失 (△)	672	3,419	△315	976	4,753	422	5,175	△1,126	4,048

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,126百万円には、セグメント間取引消去△57百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,069百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。